

2008 年度研究大会 共通論題・部会プログラム

10月24日(金)

受付開始 12:30

24日(金) 午後の部会 13:00~15:30

部会1. 日本移民研究の再考

司会: 飯野正子 (津田塾大学)

報告: 簗原俊洋 (神戸大学)

「移民問題から見た日米関係—カリフォルニア州の排日運動から排日移民法の成立まで、
1906~1924年—」

今泉裕美子 (法政大学)

「日本の南洋群島統治と『南洋移民』—1930年代後半を中心に—」

加藤聖文 (国文学研究資料館)

「日本帝国崩壊と海外引揚問題—戦後北東アジア地域における人的移動空間の収縮」

討論: 木村健二 (下関市立大)

加藤陽子 (東京大学)

部会2. テロ対処における多国間枠組みの可能性と課題

司会: 宮坂直史 (防衛大学校)

報告: 広瀬佳一 (防衛大学校)

「NATOによるテロ対処とその限界」

鈴木一人 (北海道大学)

「EUにおけるテロ対処の枠組み」

小笠原高雪 (山梨学院大学)

「ASEANにおけるテロ対策」

討論: 岩間陽子 (政策研究大学院大学)

宮坂直史 (防衛大学校)

部会3. ユーラシアの平和構築—秋野豊没後10年

司会: 伊東孝之 (早稲田大学)

報告: 湯浅 剛 (防衛研究所) (中央アジア)

「中央アジアの国際秩序: 新たな国際システムの出現?」

上杉勇司 (広島大学)

「アフガニスタンにおける平和構築—治安と復興の負の連鎖を断ち切るために」

久保慶一 (早稲田大学)

「バルカンにおける平和構築—国際社会の関与の功績と限界」

討論: 稲田十一 (専修大学)

井上実佳 (津田塾大学)

部会 4. 米国の国際政治論（自由論題 1）

司会：遠藤誠治（成蹊大学）

報告：小林良樹（早稲田大学）

「米国インテリジェンス・コミュニティの改編をめぐる動向について－国家情報長官（DNI）制度の創設から約 4 年後の評価」

宮下 豊（新潟国際情報大学）

「モーゲンソー再考－政治的リアリズムによる超越的なものの再生」

芝崎厚士（駒澤大学）

「初期ウォルツの研究－*Man, the State, and War* (1959) の成立過程を中心に」

討論：岡垣知子（防衛研究所）

泉川泰博（神戸女学院大学）

部会 5. 第二次世界大戦後の米国外交（自由論題 2）

司会：滝田賢治（中央大学）

報告：和田龍太（筑波大学）

「中国をめぐるイギリスとキッシンジャー 1973-75 年：軍事用スペイ・エンジンの対中輸出を中心に」

西田竜也（ハーバード大学）

「アジア太平洋地域における米国同盟システムの起源」

渡邊浩崇（大阪大学）

「ニクソン、フォード政権の宇宙政策－もう 1 つのデタント外交－」

討論：上村直樹（広島市立大学）

小川浩之（愛知県立大学）

分科会セッション A（15:45～17:15）別掲

分科会セッション B（17:30～19:30）別掲

10 月 25 日（土）

受付開始 9:00

25 日（土）午前の部会 9:30～12:00

部会 6. 新公開外交文書による日韓国交正常化過程の再検討（日韓合同部会）

司会：張公子（忠北大学、KAIS 会長）

報告：李元徳（国民大学、KAIS 前事務局長）

「歴史としての日韓基本条約研究－日韓外交文書公開の意義」

浅野豊美（中京大学）

「アメリカ管理下の帝国清算課程としての日韓会談－引揚・在外財産と徴用・補償問題」

李鍾元（立教大学）

「韓国公開外交文書に見るアメリカと日韓会談」

討論：曹良鉉（韓国・外交安保研究院）

川喜田敦子（東京大学）

部会 7. アジア主義の比較 ―歴史的文脈と現実的意味

司会：松浦正孝（北海道大学）

報告：浜由樹子（津田塾大学）

「ロシアにおけるユーラシア主義 ―『アジア』概念との関係を中心に―」

姜東局（名古屋大学）

「韓国におけるアジア主義とナショナリズム：相関関係の形成と持続」

高橋正樹（新潟国際情報大学）

「タイにおける『アジア主義』―タイの地域主義概念の歴史的考察―」

討論：後藤乾一（早稲田大学）

中島岳志（北海道大学）

部会 8. 国際秩序論の三叉路

司会：大芝 亮（一橋大学）

報告：山本吉宣（青山学院大学）

「帝國的秩序」

篠田英朗（広島大学）

「立憲主義と国際秩序」

石田 淳（東京大学）

「人権と人道の時代における強制外交―権力政治の逆説―」

討論：納家政嗣（青山学院大学）

部会 9. 宇宙をめぐる国際政治

司会：田所昌幸（慶應義塾大学）

報告：青木節子（慶應義塾大学）

「日本の宇宙戦略―総合的かつ計画的な宇宙開発利用をめざして」

高木 綾（国立国会図書館）

「米国の宇宙政策―宇宙における軍事活動・科学探査・商業利用―」

茅原郁生（拓殖大学）

「中国の宇宙戦略―現状と展望―」

討論：村山裕三（同志社大学）

部会 10. 持続可能な国際社会の制度設計

司会：蟹江憲史（東京工業大学）

報告：亀山康子（国立環境研究所）

「京都議定書第一約束期間以降の国際的協力体制について」

フランク・ビアマン（オランダ、Vrije 大学）

「地球環境ガバナンス」

明日香寿川（東北大学）

「中国の温暖化対策国際枠組み『参加』問題を考える」

討論：毛利勝彦（国際基督教大学）

山田高敬（首都大学東京）

部会 1 1. 日本の外交政策と国内政治

司会：五百旗頭真（防衛大学校）

報告：草野 厚（慶応大学）

「対外援助関係にかかわる体制の変化とその背景」

信田智人（国際大学）

「冷戦後の安全保障政策における与野党対決」

樋渡由美（上智大学）

「国防をめぐる日本の政治—専守防衛の限界」

討論：藤原帰一（東京大学）

分科会セッションC（13:30～15:10）別掲

総会 15:10～15:40 2階 大ホール

共通論題	「政権交代と国際政治」	15:40～18:30	2階 大ホール
司 会	： 渡邊昭夫（元東京大学）		
パネリスト	久保文明（東京大学）	アメリカ	
	若林正文（東京大学）	台湾	
	大西 裕（神戸大学）	韓国	
	岩下明裕（北海道大学）	ロシア	

懇親会 18:45～20:30

1階 エントランス・ホール

10月26日(日)

受付開始 9:00

26日(日)午前

分科会セッションD(9:30~11:00) 別掲

分科会セッションE(11:15~12:45) 別掲

若手研究者・院生研究会コーカス 13:00~14:00

「これからの海外発信と地域・院生交流の活性化を考える」

26日(日)午後の部会 14:00~16:30

部会12. 人権侵害と国家責任の比較研究

司会: 木畑洋一(東京大学)

報告: 栗田禎子(千葉大学)

「スーダン国内の『周縁化された諸地域』に対する弾圧の歴史とその克服の展望
—新たな国家像をめざして—」

内田みどり(和歌山大学)

「ウルグアイにおける軍政期人権侵害と国家『無責任』の歴史」

高橋 進(龍谷大学)

「戦争犯罪と処罰—イタリアの場合」

討論: 大串和雄(東京大学)

木畑洋一(東京大学)

部会13. 人間の安全保障 【市民公開講座も兼ねます】

司会: 臼井久和(中央大学)

報告: 栗栖薫子(大阪大学)

「人間の安全保障研究と国際関係論—新しいリサーチの地平?」

勝間 靖(早稲田大学)

「『人間の安全保障』論と国際人権ガバナンス—子どもの商業的な性的搾取を事例として」

上村雄彦(千葉大学)

「人間の安全保障のためのグローバル・ガバナンス—グローバル・タックスの可能性を
中心に」

討論: 山田哲也(南山大学)

部会14. バルカン地域とEU拡大

司会: 定形 衛(名古屋大学)

報告：菅原淳子（二松学舎大学）

「バルカン諸国における地域協力の可能性」

藤嶋 亮（神奈川大学）

「ルーマニアの EU 加盟と国内政治の変容－『欧州政党』と『姉妹政党』のダイナミクス」

月村太郎（同志社大学）

「クロアチアと EU 加盟」

討論：宇山智彦（北海道大学）

坂井一成（神戸大学）

部会 15. 日本外交の諸相（自由論題 3）

司会：井上寿一（学習院大学）

報告：鈴木崇史（東京大学）

「計量テキスト分析による第二次世界大戦後日本外交の大局的推移の検討：地域名・
国名への言及を中心として」

三上貴教（広島修道大学）

「日本外交におけるパブリック・ディプロマシーの不足－ヒロシマを中心に－」

坂下雅一（一橋大学）

「『フレーム分析』で捉えるナショナリズムの高揚・変容：冷戦初期沖縄「土地闘争」
の文脈で」

討論：池田慎太郎（広島市立大学）

青山瑠妙（早稲田大学）

分科会プログラム

◆10月24日（金）

分科会セッションA（15:45～17:15）／セッションB（17:30～19:30）

A-1 東アジア国際政治史 I（責任者：家近亮子）

《戦間期における東アジアを巡る日中米英の対外秩序構想》

司会 黒沢文貴（東京女子大学）

報告 川田稔（名古屋大学）

「戦間期日本の対外秩序構想－浜口雄幸と永田鉄山を中心に－」

井口治夫（名古屋大学）

「戦間期の米国の対東アジア政策と構想」

高文勝（天津師範大学）

「戦間期の日中関係再検討：1918～1931」

古瀬啓之（名古屋大学）

「英国の東アジア安全保障構想と九ヵ国条約 1927～1931 年」

討論 服部龍二（中央大学）

A-2 欧州国際政治史・欧州研究 I（責任者：森井裕一）

司会 森井裕一（東京大学）

報告 川合賢（東京大学）

「ウィーン体制の崩壊とレアルポリティークの普及－プロイセン-オーストリア関係を
中心に－」

金子新（慶應義塾大学）

「西ドイツと EEC/EURATOM の形成－『欧州』と『大西洋』の路線対立、1954-1957－」

八十田博人（共立女子大学）

「戦後イタリア外交における地中海政策」

討論 吉崎知典（防衛研究所）

A-3 アメリカ政治外交 I（責任者：菅英輝）

《アイゼンハワー政権と冷戦》

司会 菅英輝（西南女学院大学）

報告 佐々木卓也（立教大学）

「書評『アイゼンハワー政権と西ドイツ』（倉科一希著、ミネルヴァ書房、2008年）」

倉科一希（国際教養大学）

「書評『アイゼンハワー政権の封じ込め政策』（佐々木卓也、有斐閣、2008年）」

討論者 著者による相互コメント

A-4 東アジア I (責任者: 星野昌裕)

《「和諧世界」論をめぐる中国の内政と外交》

司会 諏訪一幸 (静岡県立大学)

報告 加茂具樹 (慶應義塾大学)

「『国内大局』からみた対外政策」

増田雅之 (防衛研究所)

「『和諧世界』論をめぐる中国外交の発展と課題」

討論 清水美和 (東京中日新聞)

田中康友 (北陸大学)

A-5 理論と方法 I (責任者: 鈴木基史)

《定性的手法を用いた国際関係理論の研究》

司会 道下徳成 (政策研究大学院大学)

報告 宮下明聡 (東京国際大学)

「事例研究をめぐる『数』と『質』の問題－国際政治の理論は事例によってどこまで
否定(肯定)されるか－」

福島啓之 (学習院大学)

「謝罪と許しの外交理論－対日不信感と日本の反省－」

討論 高木誠一郎 (青山学院大学)

泉川泰博 (神戸女学院大学)

A-6 安全保障 I (責任者: 梅本哲也)

《核兵器の拡散と不拡散》

司会/討論 秋山信将 (一橋大学)

報告 宮崎孝 (名古屋経済大学)

「核兵器不拡散条約 NPT 体制の実効性－北朝鮮およびイランの核開発を中心に－」

宮本悟 (日本国際問題研究所)

「北朝鮮の核保有戦略－不透明戦略からのアプローチ－」

討論 倉田秀也 (防衛大学校)

A-7 国際政治経済 I (責任者: 大矢根聡)

《国際・地域制度のアイディエーション・アプローチによる分析》

司会 山田敦 (一橋大学)

報告 小川裕子 (放送大学)

「開発分野におけるレジームの動態－レジーム競合と協力の動因としてのアメリカ－」

河越真帆（鎌倉女子大学）

「航空自由化とアイデアに関する研究－EC（欧州共同体）の共通航空政策の事例から－」

討論 稲田十一（専修大学）

鈴木一人（北海道大学）

A－8 国際交流 I（責任者：牧田東一）

《冷戦と国際文化交流－米国・日本の民間財団の意図と効果》

司会 遠藤誠治（成蹊大学）

報告 和田純（神田外語大学）

「戦後日米関係の形成とアメリカ民間フィランソロピーの役割：1945-75」

牧田東一（桜美林大学）

「トランスナショナル知識コミュニティ形成への民間財団の関与：フェローシップ・プログラムの戦略的意図」

討論 田中孝彦（早稲田大学）

上丸洋一（朝日新聞編集委員）

A－9 平和研究 I（責任者：野崎孝弘）

《対テロリズム戦争時代の人道・人権－グローバル・ガヴァナンスに対する批判的視座－》

司会 初瀬龍平（京都女子大学）

報告 池田丈佑（立命館大学）

『『グローバル・ガヴァナンスの失敗』と世界社会の責任』

上野友也（日本学術振興会）

「新しい戦争と新しい人道主義－国際統治・管理の手段としての人道支援」

中村文子（東北大学）

「非国家主体による監視のガヴァナンス－アブグレイブ刑務所とグアンタナモ収容所で
の拷問を事例として－」

討論 石川一雄（専修大学）

A－10 ジェンダー I（責任者：竹中千春）

《平和構築・民主化・ジェンダー》

司会 竹中千春（立教大学）

報告 小倉清子（ネパール、トリブヴァン大学）

「ネパールの平和構築、民主化、ジェンダー－女性ゲリラから制憲議会議員へ－」

古沢希代子（東京女子大学）

「東ティモールの平和構築、民主化、ジェンダー－平和構築期のジェンダー政策をめぐる
政治状況－」

討論 木村真希子（明治学院大学）
山田哲也（南山大学）

10月24日（金）セッションB（17:30～19:30）

B-1 東アジア国際政治史Ⅱ（責任者：家近亮子）

《近代中国の民族問題と建国後の歴史教育問題》

司会 家近亮子（敬愛大学）

報告 木下恵二（慶應義塾大学）

「新疆盛世才政権の民族政策－1930年代辺境における『中国』の近代的再編－」

王雪萍（関西学院大学）

「中国の歴史教育の中の日本－建国後の中国の歴史教科書と『教学大綱』の変化を中心に」

討論 牧野篤（東京大学）

吉田豊子（京都産業大学）

B-2 欧州国際政治史・欧州研究Ⅱ（責任者：森井裕一）

司会/討論 森井裕一（東京大学）

報告 阿部悠貴（シェフィールド大学）

「冷戦後のNATOの変遷に関する国際政治理論からの一考察－旧ユーゴスラヴィア内戦への欧州諸国の対応を事例に－」

中村登志哉（長崎県立大学）

「ドイツ・メルケル政権の対外派兵政策－課題とディレンマ－」

中川洋一（ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学）

「21世紀におけるドイツ対外・安保政策をめぐる議論の動向紹介」

討論 吉崎知典（防衛研究所）

B-3 アメリカ政治外交Ⅱ（責任者：菅英輝）

《アメリカの戦争と市民社会》

司会 滝田賢治（中央大学）

報告 大津留（北川）智恵子（関西大学）

「アメリカの戦争と市民－社会運動と政治過程の相互関係－」

三浦俊章（朝日新聞論説委員）

「アメリカの戦争とメディア－ビジネス、権力チェック、愛国心の視点から－」

討論 初瀬龍平（京都女子大学）

B-4 ロシア・東欧分科会 I (責任者：宮崎英隆)

《プーチン政権の8年—その内外政策の評価》

司会 宮崎英隆 (東海大学)

報告 兵頭慎治 (防衛研究所)

「プーチン政権下の国家安全保障政策—戦略環境認識、脅威認識、政策立案過程の変化を中心に—」

石郷岡建 (日本大学)

「ポスト・ポスト冷戦時代に入ったのか—プーチン時代8年間の米露関係の分析」

討論 中野潤三 (鈴鹿国際大学)

岩田賢司 (広島大学)

B-5 東アジア II (責任者：星野昌裕)

《朝鮮半島の政治変動》

司会/討論 神谷万丈 (防衛大学校)

報告 西野純也 (慶應義塾大学)

「韓国の政治変動と外交安保政策の形成」

李泳采 (恵泉女学園大学)

「日朝国交正常化が朝鮮半島の秩序変革に与える影響」

討論 李鐘国 (法政大学)

B-6 安全保障 II (責任者：梅本哲也)

《対外介入と地域秩序》

司会 梅本哲也

報告 金成浩 (琉球大学)

「ソ連の軍事介入の論理—『膨張』か『防御』か?」

楠綾子 (大阪大学)

「『ロカルノ方式』の誘惑—地域的安全保障の概念と日本の安全保障政策—」

討論 松岡完 (筑波大学)

酒井哲哉 (東京大学)

B-7 国際政治経済 II (責任者：大矢根聡)

《国際・地域制度をめぐる選好の分析》

司会 大矢根聡 (同志社大学)

報告 庾仁泰 (立教大学)

「小泉内閣と盧武鉉政権との対外経済政策—自由貿易協定への取り組みを中心に—」

藤田泰昌（上智大学）

「G A T T / W T O 提訴をめぐる先進民主主義諸国の政策選択－多元因果と結合因果から説明する－」

富田晃正（東京大学）

「経済グローバル化下の社会集団についての考察－アメリカ通商政策における企業と労働組合の選好を例に－」

討論 大庭三枝（東京理科大学）

小尾美千代（北九州大学）

B－8 国際交流Ⅱ（責任者：牧田東一）

《戦間期の国際文化交流－帝国・国際連盟・国民国家と規範形成》

司会 都丸潤子（早稲田大学）

報告 赤見友子（オーストラリア国立大学）

「帝国と『国際社会』の関係についての試論－国際福祉ノーム形成への帝国関与－」

古泉達矢（東京大学）

「戦間期香港におけるアヘン『密輸』問題－ナマーズィー商会に対するイギリスの認識を中心に－」

討論 川島真（東京大学）

半澤朝彦（明治学院大学）

B－9 国連研究Ⅰ（責任者：則武輝幸）

司会/討論 則武輝幸（帝京大学）

報告 石塚勝美（共栄大学）

「カンボジア及び東ティモールの国連ミッションが与えた平和構築に関する教訓」

討論 庄司真理子（敬愛大学）

B－10 平和研究Ⅱ（責任者：野崎孝弘）

《国際社会における『周辺』－日本とアフリカの事例から－》

司会/討論 芝崎厚士（駒澤大学）

報告 池尾靖志（京都精華大学）

「米軍再編に伴う、日本の『周辺』地域への影響－沖縄、岩国を事例とする『市民』形成の可能性」

杉木明子（神戸学院大学）

「北部ウガンダにおける紛争と市民社会組織の可能性」

討論 高原孝生（明治学院大学）

野上元（筑波大学）

◆10月25日(土)

分科会セッションC (13:30~15:10)

C-1 日本外交史Ⅰ(責任者:佐藤元英)

《石油をめぐる外交交渉》

司会 黒沢文貴(東京女子大学)

報告 張允貞(早稲田大学)

「戦前期日本の海外資源確保と蘭印石油—『第2次日蘭会商』を中心に—」

三輪宗弘(九州大学)

「資産凍結後の石油代金をめぐる日米交渉」

討論 井口治夫(名古屋大学)

C-2 欧州国際政治史・欧州研究Ⅲ(責任者:森井裕一)

《イギリスとヨーロッパ—欧州統合史と国際政治経済史の視座から—》

司会 細谷雄一(慶應義塾大学)

報告 益田実(三重大学)

「『世界大国』としてのイギリス外交の再編とヨーロッパ統合への対応—『失われた機会』を求めて 1945-1957年—」

芝崎祐典(学習院大学)

「イギリスの緩やかな方向転換と対ヨーロッパ関係—第二次 EEC 加盟申請とその挫折 1964-1970年—」

討論 田所昌幸(慶應義塾大学)

C-3 アメリカ政治外交Ⅲ(責任者:菅英輝)

《アメリカ外交におけるソフトパワーとハードパワー》

司会 菅英輝(西南女学院大学)

報告 松田武(大阪大学)

「アメリカ合衆国政府の文化冷戦の展開—日本における『真実のキャンペーン』」

中嶋啓雄(大阪大学)

「ローズヴェルト系論とカリブ地域における軍事介入—今日のアメリカ外交へのインプリケーション」

討論 藤本博(南山大学)

C-4 ロシア・東欧Ⅱ(責任者:宮崎英隆)

司会 上野俊彦(上智大学)

報告 一ノ渡忠之（明治大学）・笹岡伸矢（明治大学）

「ポストソ連地域の国際関係ーロシアと旧ソ連諸国の二国間関係の分析ー」

荻森正尊（早稲田大学大学院）

「EUの政治基準は改革を促すのか？ースロヴァキアのEU加盟過程を例としてー」

東島雅昌（早稲田大学大学院）

「経済自由化と多民族社会のもとでの権威主義化の論理ークロス・ナショナルの統計分析
とカザフスタンの事例研究ー」

討論 岩下明裕（北海道大学）

中田瑞穂（名古屋大学）

宇山智彦（北海道大学）

C-5 ラテンアメリカ I（責任者：出岡直也）

司会 出岡直也（慶應義塾大学）

報告 堀坂浩太郎（上智大学）

「南米の資源ナショナリズムと地域主義ー天然ガスをめぐる相克」

討論 恒川恵市（政策研究大学院大学）

C-6 アフリカ I（責任者：片岡貞治）

《アフリカ争奪戦》

司会/討論 片岡貞治（早稲田大学）

報告 荒木圭子（東海大学）

「米国の対アフリカ外交ーブッシュ政権とその後の展望ー」

吉崎知典（防衛研究所）

「欧州とアフリカーNATOとEUの関与を中心にー」

C-7 理論と方法 II（責任者：鈴木基史）

《内戦の量的研究》

司会 鈴木基史（京都大学）

報告 石黒馨（神戸大学）

「和平交渉と内戦：リアリズムの2レベルゲーム分析」

河村弘祐（東京大学）

「民族紛争の2レベルゲーム分析ー方法論的課題と実質的課題」

大村啓喬（大阪大学）

「内戦の終了と再発」

討論 浜中新吾（山形大学）

C-8 国際統合 I (責任者: 児玉昌己)

《リスボン条約とその分析》

司会 児玉昌己 (久留米大学)

報告 鷺江義勝 (同志社大学)

「リスボン条約の構成と主要機関及び政策決定過程の改革」

富川尚 (敬和学園大学)

「リスボン条約と欧州理事会の改革」

菅沼靖志 (大阪経済法科大学)

「リスボン条約 新規挿入された政策領域－エネルギーなど－」

久門宏子 (阪南大学)

「リスボン条約と司法機関の改革」

C-9 安全保障 III (責任者: 梅本哲也)

《治安部門改革 (SSR) の諸相》

司会 武田康裕 (防衛大学校)

報告 小塚郁也 (防衛研究所)

「ペルシャ湾岸アラブ諸国での治安部門改革 (SSR) の可能性－理論的検討」

香川めぐみ (内閣府)

「紛争後における治安部門改革 (SSR) への主要アクターの取組－移行期の治安と平和の安定化に取り組む実務家からの声－」

討論 上杉勇司 (広島大学)

藤重博美 (名古屋商科大学)

C-10 政策決定 (責任者: 我部政明)

《政策決定の深遠を求めて》

司会/討論 我部政明 (琉球大学)

報告 飯倉章 (城西国際大学)

「対外政策決定過程における人種主義の影響－戦前期日本外交と人種主義－」

小田桐確 (上智大学)

「体制移行国間の国際関係－フランス革命期の英仏関係を事例として－」

水沢紀元 (明治大学)

「日本外交の説明手法としてのネオクラシカル・リアリズムの意義」

討論 長尾悟 (東洋学園大学)

C-11 トランスナショナル I (責任者: 鎌田真弓)

《越境時代における都市のマイノリティと文化政治－豪・米・日の事例から－》

司会 関根政美（慶應義塾大学）
報告 戴エイカ（ノースキャロライナ大学）
「文化と政治をつなぐディアスポラ・フェスティバル」
福嶋美佐子（法政大学）
「都市コミュニティにおけるマイノリティの多様化」
討論 飯笹佐代子（総合研究開発機構）

C-12 平和研究Ⅲ（責任者：野崎孝弘）

《安全保障/開発ディスコースの交錯》

司会 鈴木規夫（愛知大学）
報告 千葉尚子（国際基督教大学）
「人間の安全保障と人間開発－欠乏か、選択か、自由をめぐる現代的概念－」
鶴見直人（神戸大学）
「グローバル・ガバナンスにおける『平和構築』の位相－国際社会による取組の限界と
その外側にあるもの－」
討論 原田太津男（中部大学）
妹尾裕彦（千葉大学）

C-13 環境Ⅰ（責任者：太田宏）

《国際環境問題に関する規範と制度的相互作用》

司会 太田宏（早稲田大学）
報告 松本泰子（京都大学）
「オゾンレジームと気候レジーム間の政策的相互連関：CDM 事業における政策矛盾と
その因果メカニズム」
渡邊智明（九州大学）
「『環境と貿易』に関する国際規範と国内政治－バーゼル条約をめぐる米独の対応を事例
として－」
討論 石井敦（東北大学）
北村治（政治経済研究所）

◆10月26日（日）

分科会セッションD（9:30～11:00）／セッションE（11:15～12:45）

D-1 東アジアⅢ（責任者：星野昌裕）

《中国の対外関係》

司会 星野昌裕（静岡県立大学）

報告 江藤名保子（慶應義塾大学）

「日中関係における歴史認識問題の発生メカニズム-1982年教科書問題の分析を中心に-」

亀山伸正（創価大学）

『『多国間主義』、『地域主義』の学習過程としての中国の東アジア外交』

討論 海老原毅（富山商船高等専門学校）

D-2 東南アジア I（責任者：高橋正樹）

司会 高橋正樹（新潟国際情報大学）

報告 滝知則（長崎国際大学）

「国際人口移動の過程において国境を越えて継続する問題への対応-タイに帰国した移住者と日本のNGOを中心に-」

鈴木陽一（下関市立大学）

「英米非公式帝国の展開とマレーナショナリズム-マラヤ連邦の独立をめぐって-」

討論 クラインシュミット・ハラルド（筑波大学）

水本義彦（二松学舎大学）

D-3/E-2（連続） 中東 I（責任者：北澤義之）

司会 北澤義之（京都産業大学）

報告 堀抜功二（京都大学）

「アラブ首長国連邦における対外関係と援助政策の変遷」

中村覚（神戸大学）

「サウディアラビア王国によるテロ対策の進展に影響する要因-国内アクターの規範、アイデンティティ、脅威認識-」

平井由貴子（筑波大学）

「トルコのEU加盟とクルド問題」

討論 松本弘（大東文化大学）

未近浩太（立命館大学）

D-4/E-3（連続） 安全保障IV・V（責任者：梅本哲也）

《台湾海峡をめぐる安全保障問題》

司会/討論 浅野亮（同志社大学）

報告 松田康博（東京大学）

「中国の安全保障と対台湾政策-『進歩史観』と『関与・ヘッジ』パラダイム-」

門間理良（文部科学省）

「台湾の政治・軍事戦略の中の『中国』」

川上高司（拓殖大学）

「台湾有事を巡る米国の動向」

討論 高木誠一郎（青山学院大学）

D-5/E-4（連続） 国際政治経済Ⅲ・Ⅳ（責任者：大矢根聡）

《レジーム・コンプレックスの実証的・理論的分析へ》

司会 大矢根聡

報告 沖村理史（島根県立大学）

「ポスト京都議定書交渉と炭素市場」

原嶋洋平（拓殖大学）

「貿易と地球温暖化ー『気候に優しい物品・サービス』の貿易自由化交渉ー」

大江馨（筑波大学）

「貿易と食の安全をめぐるレジーム・コンプレックスー遺伝子組み換え食品の貿易を事例としてー」

討論 古城佳子（東京大学）

山田高敬（首都大学東京）

D-6 国際交流Ⅲ（責任者：牧田東一）

司会 牧田東一（桜美林大学）

報告 加藤恵美（早稲田大学）

「『住民国家』形成の試みー革新自治体・神奈川と国際化政策の発展ー」

堀内めぐみ（青山学院大学）

「国際政治理論における文化の問題ーリアリズム、リベラリズム、コンストラクティヴィズムの概括的比較検討ー」

討論 川村陶子（成蹊大学）

D-7/E-5（連続） トランスナショナルⅡ・Ⅲ（責任者：鎌田真弓）

《ナショナリズムとトランスナショナリズムの間》

司会 鎌田真弓（名古屋商科大学）

報告 白川俊介（九州大学）

「リベラリズムの解釈の変容とナショナリズムー政治理論的視座から」

中野涼子（シンガポール国立大学）

「オリエンタリズムに抗するナショナリズム・リージョナリズムの諸相ー近代日本思想史からの視点」

三牧聖子（東京大学）

「『アメリカニズム』とアジア・ナショナリズムー冷戦期現実主義者の『思想戦』批判からー」

討論 石田正治（九州大学）
芝崎厚士（駒澤大学）
大賀哲（九州大学）

D-8/E-6（連続） 平和研究IV・V（責任者：野崎孝弘）

《表象と世界政治》

司会 石川一雄（専修大学）

報告 野崎孝弘（中部大学）

「表象の政治学－恣意性からアイロニーへの転回－」

前田幸男（国際基督教大学）

「アメリカ外交政策の行為遂行性と情動の共振機械化」

五野井郁夫（日本学術振興会）

「公共圏と世界政治－規範形成の場、あるいは現われの空間を求めて－」

討論 杉田敦（法政大学）

小林誠（お茶の水女子大学）

セッションE（11:15～12:45）

E-1 日本外交史II（責任者：佐藤元英）

司会 佐藤元英（中央大学）

報告 中谷直司（同志社大学）

「第一次大戦後の日本外務省の『新外交』呼応論－パリ講和会議イメージの再検討－」

坂本健蔵（平成国際大学）

「華北分離工作期における日満華提携論の一考察－永井柳太郎を中心に－」

討論 熊本史雄（駒澤大学）